NO.

009

教育 「伸びる」考え方（成長マインドセット）

Talent Is Not a Fixed Amount

才能は決まった量ではない——「伸びる」考え方

英文の音声

レベル ★★☆ やや難 | 299語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Some students believe that intelligence is something you are born with. If math has always been ❶**a piece of cake** for a classmate while you ❷**are bad at** it, you may conclude that she simply has a 'math brain' and you do not. Perhaps you assume that children ❸**take after** their parents in ability, so there is little point in trying.

2 The American psychologist Carol Dweck called this belief a 'fixed mindset.' People with a 'growth mindset,' on the other hand, believe that abilities can be developed through effort and good strategies. For them, a poor score ❹**has nothing to do with** a lack of talent; it simply shows what they have not learned yet.

3 This difference matters because beliefs shape behavior. Students with a fixed mindset tend to avoid difficult tasks, since failure seems to prove they are not smart. They may ❺**make a face** when given a challenging problem, or ❻**run themselves down** after a mistake. Students with a growth mindset are more likely to ❼**persist in** working on a hard problem, and they ❽**turn in** their assignments even when they are not perfect.

4 How can such a mindset be ❾**put into practice**? Praising effort and strategy rather than intelligence is one way. Another is to practice a skill regularly, say ❿**every other day**, and notice the gradual improvement. A student who once failed a test may pass the next one ⓫**with flying colors**. Experiences like this can make students ⓬**change their minds** about what they are capable of.

5 The idea does have its limits. Recent large studies suggest that short mindset lessons have only modest effects on grades, and that the idea does not ⓭**apply to** every situation equally. Still, its core message is valuable: ability is not a fixed amount but something that can grow.

語注 **intelligence** 知能 **psychologist** 心理学者 **mindset** 考え方・心の持ち方
modest （量・程度が）控えめな、わずかな

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 a piece of cake とても簡単なこと □□□

ケーキ一切れを食べるくらい簡単。＝ very easy。日本語の「朝飯前」。会話問題では It's a piece of cake. の形で頻出。

例 *The first question on the test was a piece of cake.* テストの最初の問題は朝飯前だった。

2 be bad at ~ ～が下手である □□□

＝ be poor at ~。反対は be good at ~。at の後ろは名詞か動名詞。be weak in ~ も「～が苦手だ」。 例 *I'm bad at remembering names.* 私は人の名前を覚えるのが苦手だ。

3 take after ~ （親など）に似ている □□□

＝ resemble。血のつながった年上の親族（親・祖父母など）に外見・性格が似ている。進行形にしない。look like ~ は外見だけ。 例 *She takes after her mother in personality.* 彼女は性格が母親に似ている。

4 have nothing to do with ~ ～と何の関係もない □□□

nothing の部分を変えて関係の度合いを表す：have something to do with（何か関係がある）、have much to do with（大いに関係がある）、have little to do with（ほとんど関係がない）。 例 *Your age has nothing to do with your ability to learn.* 年齢は学ぶ力とは何の関係もない。

5 make a face 顔をしかめる □□□

嫌なもの・まずいものに対して「顔をゆがめる」。make faces と複数にすると「おどけた顔をする」の意味にもなる。

例 *The child made a face when he tasted the medicine.* その子は薬を味わって顔をしかめた。

6 run down ~ ～をけなす □□□

＝ criticize / speak ill of。run oneself down は「自分を卑下する」。他に「（電池が）切れる」「（車で）はねる」の意味もある多義語。 例 *He's always running down his coworkers.* 彼はいつも同僚の悪口を言っている。

7 persist in ~ ～に固執する □□□

in の後ろは名詞か動名詞。良い意味（粘り強く続ける）にも悪い意味（しつこく固執する）にも使う。形容詞 persistent（粘り強い・しつこい）。 例 *She persisted in her efforts until she succeeded.* 彼女は成功するまで努力を続けた。

8 turn in ~ ～を提出する □□□

＝ hand in / submit。turn A in の語順も可。「（犯人を）警察に突き出す」「床につく」（自動詞）の意味もある。

例 *Please turn in your reports by Friday.* 金曜日までにレポートを提出してください。

9 put ~ into practice ～を実行する □□□

＝ carry out。理論・計画・考えを「実践に移す」。受け身 be put into practice の形が多い。in practice（実際には）と区別。 例 *It's time to put our plan into practice.* 計画を実行に移すときだ。

10 every other day 1日おきに □□□

other は「もう一方の」で、2 日に 1 回。every other week（隔週）、every three days（3 日ごとに）、every few days（数日おきに）も一緒に。 例 *I go swimming every other day.* 私は 1 日おきに泳ぎに行く。

11 with flying colors 見事に □□□

勝った船が旗（colors）をなびかせて港に戻ったことから。pass ~ with flying colors（～に見事に合格する）の形で使うことが多い。 例 *She passed the entrance exam with flying colors.* 彼女は入試に見事合格した。

12 change one's mind 考えを変える □□□

主語に合わせて one's を変える。複数の人なら change their minds。make up one's mind（決心する）とセットで覚える。

例 *I was going to stay home, but I changed my mind.* 家にいるつもりだったが、気が変わった。

13 apply to ~ ～に当てはまる □□□

「規則・説明が～に当てはまる」。apply for ~ は「～に申し込む」で前置詞が違う。apply A to B（A を B に応用する）の形もある。 例 *This rule applies to all students.* この規則はすべての生徒に当てはまる。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第 3 段落によると、「伸びる考え方」の生徒の特徴はどれか。

① 失敗を恐れて難しい課題を避ける
② ミスをした後で自分をけなす
③ 難しい問題を出されると顔をしかめる
④ 難しい問題に粘り強く取り組み、完璧でなくても課題を提出する

問2 第 4 段落で挙げられている「伸びる考え方」を実行する方法はどれか。

① 生徒の知能の高さをほめる
② テストの回数を減らす
③ 努力ややり方をほめ、少しずつ練習して上達に気づかせる
④ 苦手な科目は早めにあきらめさせる

問3 第 5 段落で筆者が述べていることとして最も適切なものはどれか。

① この考えには限界もあるが、能力は伸びうるという核心には価値がある
② 最近の研究で、この考えはまったく間違いだと分かった
③ 短い授業で考え方を教えれば、成績は大きく上がる
④ この考えはあらゆる状況に同じように当てはまる

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 とても簡単なこと
2 〜が下手である
3 （親など）に似ている
4 〜と何の関係もない
5 顔をしかめる
6 〜をけなす
7 〜に固執する
8 〜を提出する
9 〜を実行する
10 1日おきに
11 見事に
12 考えを変える
13 〜に当てはまる

背景知識 「マインドセット」は、スタンフォード大学の心理学者キャロル・ドゥエックが広めた考え。能力は変わらないと考える「硬直した考え方」と、努力で伸びると考える「伸びる考え方」を区別した。教育界で大きな影響を与え、「頭がいいね」ではなく「よく頑張ったね」とほめることが勧められた。ただし近年の大規模な研究では、短い介入による成績への効果は小さいという結果も出ている。入試では「定説の紹介→限界の指摘→それでも価値がある」という流れで出やすい。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 知能は生まれつきのものだと信じている生徒がいる。あるクラスメートにとって数学がずっと**朝飯前**で、一方自分は数学が**苦手**だとしたら、彼女にはただ「数学脳」があって自分にはないのだと結論づけるかもしれない。あるいは、子どもは能力の点で親に**似る**のだから、努力してもほとんど意味がないと思い込むかもしれない。

2 アメリカの心理学者キャロル・ドゥエックは、この考えを「硬直した考え方（フィックスト・マインドセット）」と呼んだ。一方、「伸びる考え方（グロース・マインドセット）」を持つ人は、能力は努力とよいやり方によって伸ばせると信じている。彼らにとって、悪い点数は才能がないこととは**何の関係もない**。それはまだ学んでいないことを示しているだけなのだ。

3 この違いが重要なのは、考え方が行動を形作るからだ。硬直した考え方の生徒は、失敗が自分の頭の悪さを証明するように思えるので、難しい課題を避けがちだ。難しい問題を出されると**顔をしかめ**たり、ミスの後で自分を**けなし**たりするかもしれない。伸びる考え方の生徒は、難しい問題に**粘り強く**取り組む可能性が高く、完璧でなくても課題を**提出する**。

4 そうした考え方はどうすれば**実行**できるのだろうか。知能ではなく、努力ややり方をほめるのが一つの方法だ。もう一つは、例えば**1 日おきに**定期的に技能を練習し、少しずつの上達に気づくことだ。かつてテストに落ちた生徒が、次のテストに**見事に**合格するかもしれない。こうした経験によって、生徒は自分に何ができるかについて**考えを改める**ことがある。

5 この考えには確かに限界もある。最近の大規模な研究は、短い授業で考え方を教えても成績への効果はわずかであり、この考えがあらゆる状況に同じように**当てはまる**わけではないことを示している。それでも、その核となるメッセージには価値がある。能力は決まった量ではなく、伸びうるものなのだ。

要旨 能力は生まれつき決まっているという考えより、努力ややり方で伸びると考える方が、難しい課題に粘り強く取り組めるようになる。効果には限界もあるが、能力は伸ばせるという核心のメッセージには価値がある。

解答・解説 ANSWERS

問1 4 **問2 3** **問3 1**

問1 正解 4 根拠は第 3 段落 Students with a growth mindset are more likely to persist in working on a hard problem, and they turn in their assignments even when they are not perfect。4 が正解。1・2・3 はどれも同じ段落で「硬直した考え方」の生徒の特徴として書かれている（tend to avoid difficult tasks / make a face / run themselves down）。2 種類の生徒を対比している段落では、どちらの説明かを取り違えないことが大切。

問2 正解 3 根拠は第 4 段落 Praising effort and strategy rather than intelligence is one way. Another is to practice a skill regularly, say every other day, and notice the gradual improvement。3 が正解。1 は rather than intelligence（知能ではなく）とあるので逆。2 のテストの回数、4 のあきらめさせることは書かれていない。A rather than B は「B ではなく A」で、どちらが肯定されているかを正確に読むこと。

問3 正解 1 根拠は第 5 段落 The idea does have its limits ... Still, its core message is valuable。限界を認めつつ、Still（それでも）の後で核心の価値を述べているので 1 が正解。2 は「まったく間違い」とまでは言っておらず、効果が modest（わずか）というだけ。3 は have only modest effects on grades と逆。4 は does not apply to every situation equally と逆。